

平成 28 年第 2 四半期景況調査報告

平成 28 年 10 月

平成28年第2四半期景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	平成28年9月 日 () から平成28年9月 日 ()
(2) 調査方法	FAXによるアンケート調査
(3) 調査対象	市内172事業所(当所役員議員及びモニター事務所)
(4) 回収率	50.6% (87/172)
(5) 調査項目	平成28年4月～6月の業況・売上などの状況判断

・産業別判断指数

(1) 第2四半期(4月～6月期)の実績(水準)

	業況 (良い割合—悪い割合)	売上 (好転割合—低調割合)	採算 (黒字割合—赤字割合)	資金繰り (余裕割合—苦しい割合)	仕入れ価格 (低い割合—高い割合)	受注(客)単価 (高い割合—低い割合)	従業員 (過剰割合—不足割合)
全産業	▲11.0	▲25.6	34.9	0.0	▲8.2	▲31.4	▲27.9
製造業	▲10.6	▲27.3	54.5	27.3	3.0	▲30.3	▲9.1
建設業	▲6.7	▲6.7	40.0	▲6.7	▲46.7	▲26.7	▲60.0
卸・小売業	▲50.0	▲63.6	▲9.1	▲54.5	▲27.3	▲54.5	▲9.1
サービス業	1.9	▲18.5	25.9	▲7.7	7.7	▲25.9	▲40.7

(2) 第2四半期(4月～6月期)の前年同期比

	業況 (好転割合—悪化割合)	売上 (増加割合—減少割合)	採算 (好転割合—悪化割合)	資金繰り (好転割合—悪化割合)	仕入れ価格 (下落割合—上昇割合)	受注(客)単価 (上昇割合—下落割合)	
全産業	▲15.5	▲17.6	▲8.2	▲4.7	▲3.5	▲18.6	30を超える
製造業	▲21.9	▲27.3	▲6.1	3.0	12.1	▲21.2	10～30
建設業	7.1	21.4	21.4	6.7	▲26.7	▲6.7	▲10超 ～10未満
卸・小売業	▲45.5	▲45.5	▲54.5	▲45.5	▲27.3	▲36.4	▲30～▲10
サービス業	▲7.4	▲14.8	▲7.4	▲3.7	0.0	▲14.8	▲30下回る

※(1)実績(水準)は調査時における市内の景気水準を(2)前年同期比は前年同期からの変化を示す。
 ※上記の指数は、業況・売上・採算など各項目についての状況の判断を示す。プラス(「好転」超など)であれば、景気が良い水準(上向き傾向)を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、景気が悪い水準(下向き傾向)を表す回答割合が多いことを示す。
 ※従業員判断については、プラスであれば「過剰」、マイナスであれば「不足」の回答割合が多いことを示す。
 ※実績(水準)の業況のみ5段階(良い、やや良い、どちらともいえない、やや悪い、悪い)で評価(他は3段階評価)。

・調査結果のポイント

市内企業の業況判断指数は、4月～6月期の実績(水準)は、全産業で▲11.0と低水準。業種別では卸・小売業が▲50.0と特に低調。プラス圏はサービス業のみ。

前年同期からの変化をみると、全産業では▲15.5と前回調査から大きく下落し、「悪化」超に転じている。業種別では建設業のみ+7.1と前回調査に続き良化傾向。

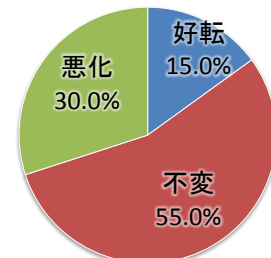
製造業、卸・小売業では、受注(客)単価の低下により売上が減少し、業況の悪化に繋がっているとみられる。

従業員判断については、全業種で「不足」超となっており、人手不足感は強い。特に建設業において不足感が強まっている。

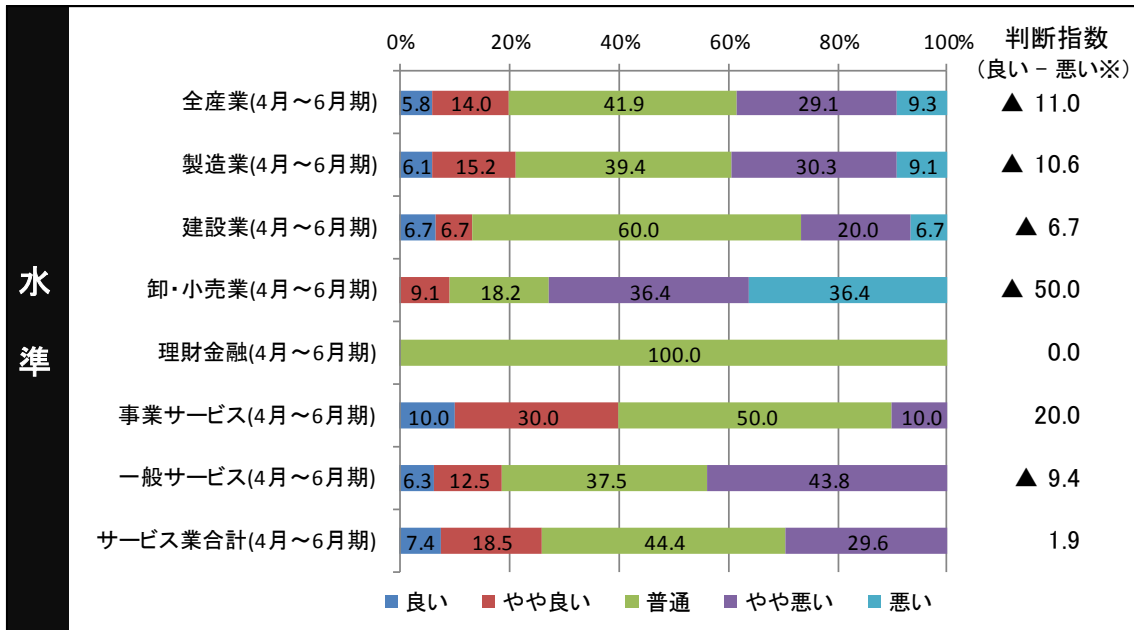
・平成28年度下半期の業況見通し

全産業の下半期(平成28年10月～3月)の業況見通しは、平成28年度上期に比べ、「好転」見込みの企業が15.3%、「悪化」見込み企業が30.0%となった。

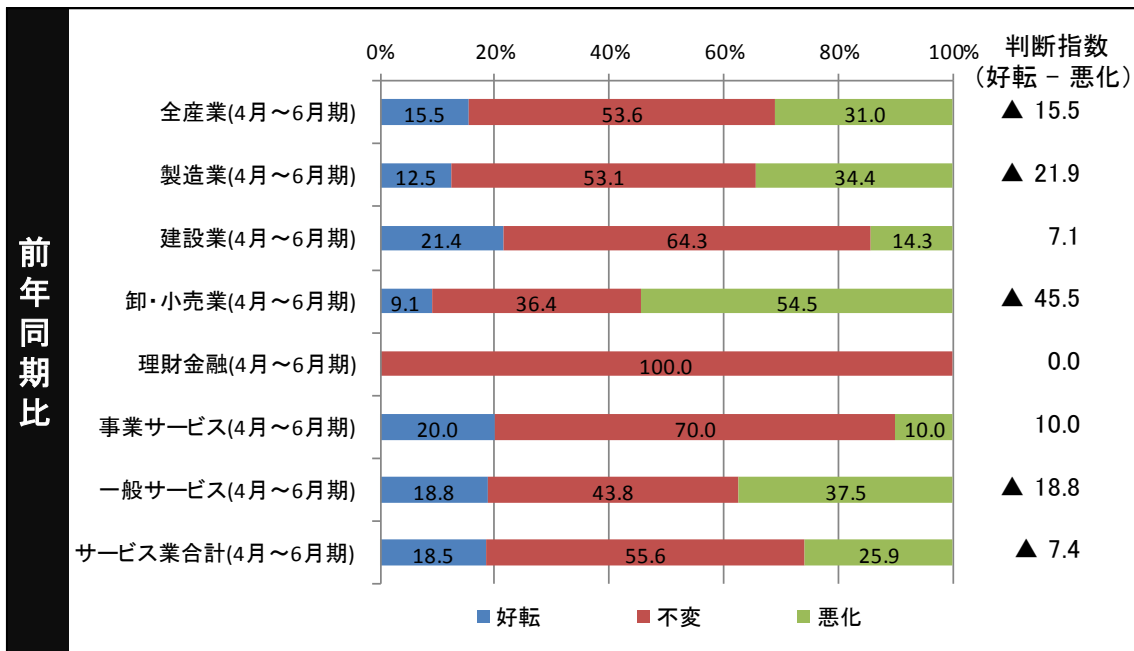
判断指数は▲15.0と弱含む見通し。



【業況についての判断】



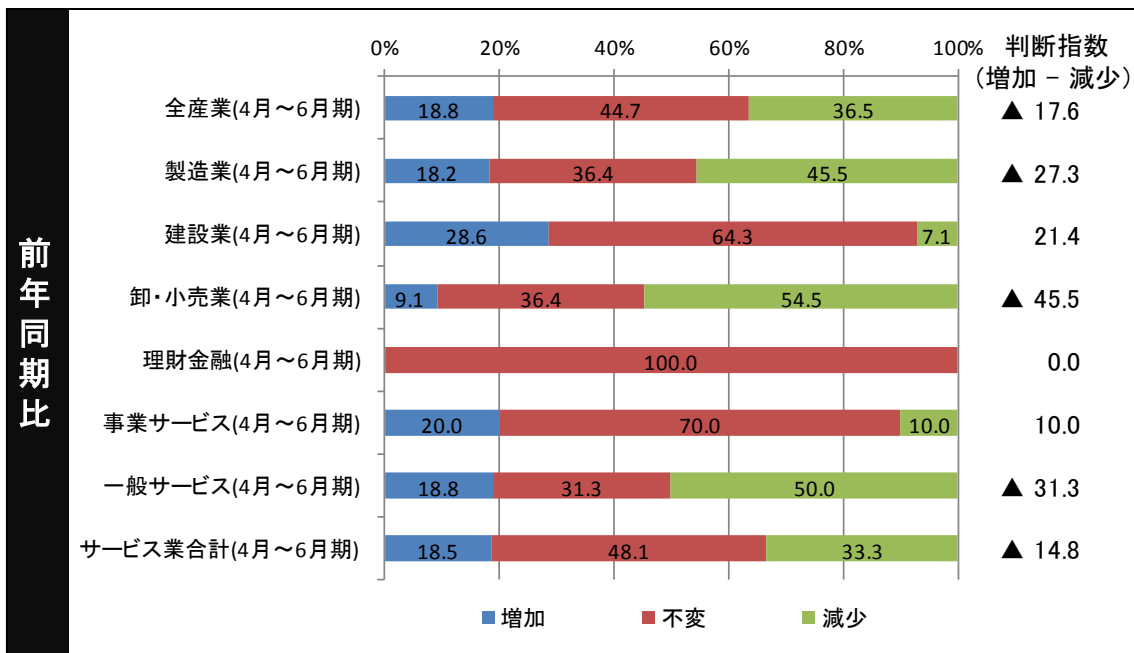
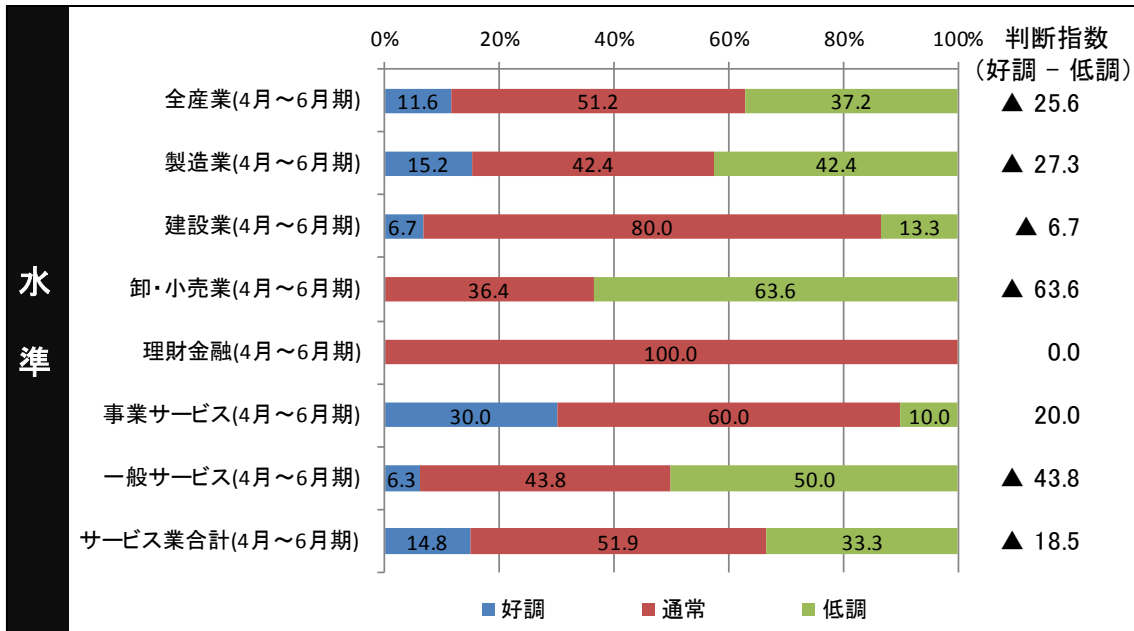
※業況水準の判断指数＝「良い」割合＋「やや良い」割合×0.5－「やや悪い」割合×0.5－「悪い」割合



・4月～6月期の全産業合計の業況水準の判断指数は▲11.0と「悪い」超となった。業種別に見ると、事業サービス業のみ「良い」超。卸・小売業は▲50.0と特に低水準まで落ち込んでいる。

・4月～6月期の前年同期比をみると、全産業合計で▲15.5と「悪化」超。業種別に見ると、建設業、事業サービス業が「好転」超となる一方、製造業、卸・小売業、一般サービスが「悪化」超となっており、弱い動きが見られる。

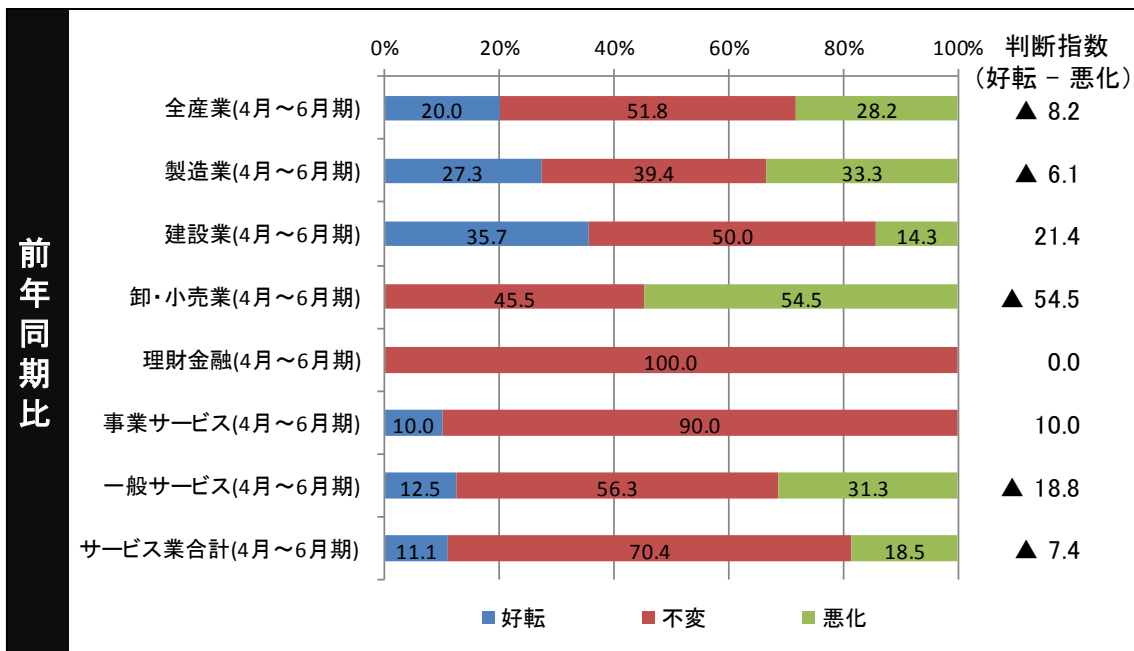
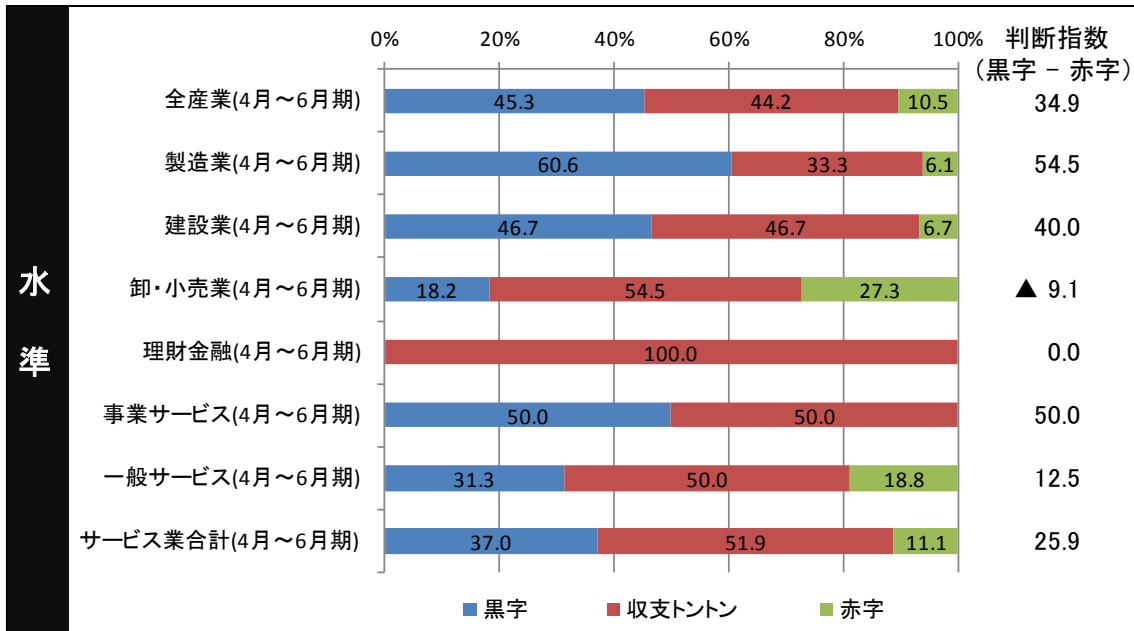
【売上状況についての判断】



・4月～6月期の全産業合計の売上水準の判断指数は▲25.6と「低調」超となった。業種別に見ると、製造業、建設業、卸・小売業、一般サービス業で「低調」超となった。特に卸・小売業の▲63.6が目立つ。

・4月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲17.6と「減少」超。業種別に見ると、建設業、事業サービス業が「増加」超となる一方、製造業、卸・小売業、一般サービス業は「減少」超となっている。卸・小売業、一般サービス業では特に「減少」回答が多く、消費低迷により弱い動きとなっている。

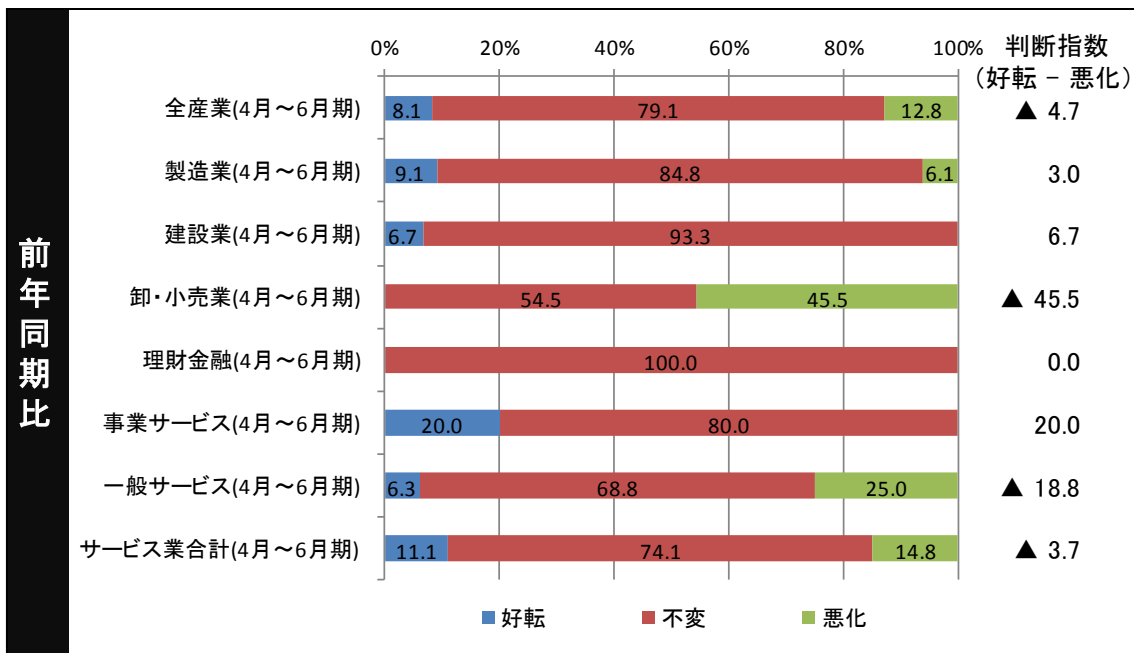
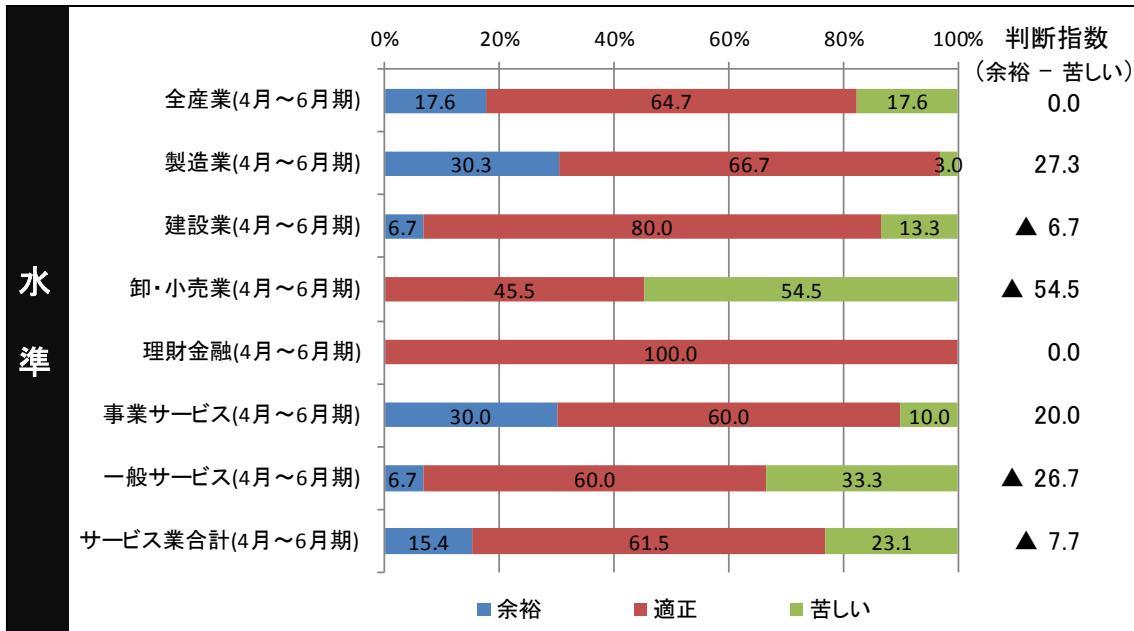
【採算の状況についての判断】



・4月～6月期の全産業合計の採算水準の判断指数は34.9と「黒字」超となった。業種別に見ると、製造業、建設業、事業所サービス、一般サービスで「黒字」超となる一方、卸・小売業のみ「赤字」超となっている。

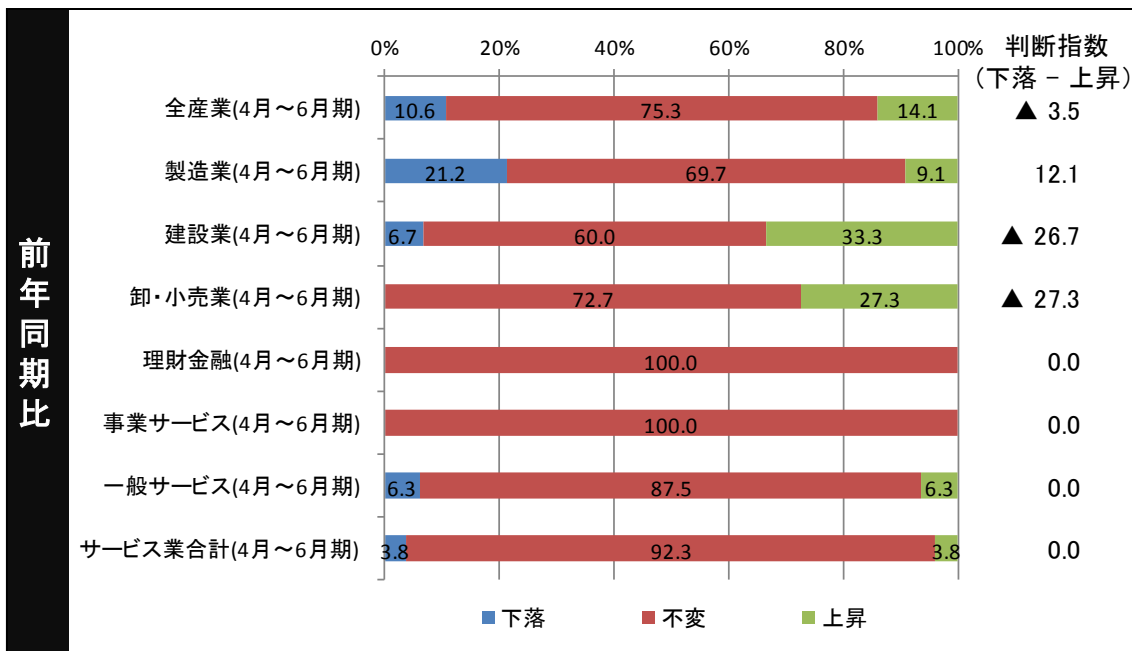
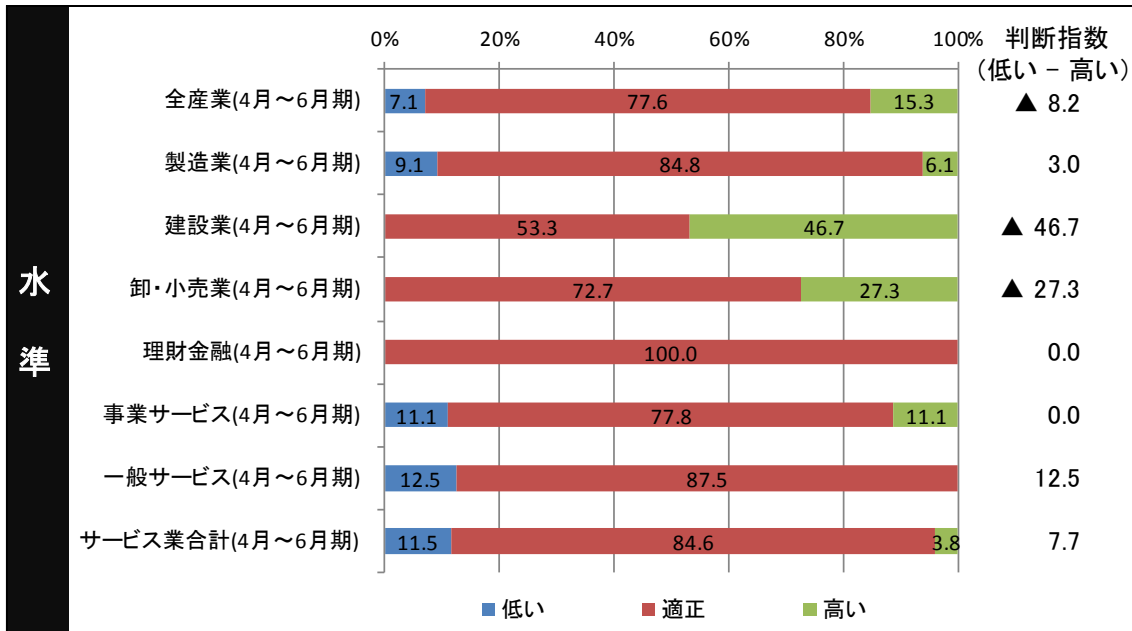
・4月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲8.2と「悪化」超。業種別に見ると、建設業、事業サービス業が「好転」超となる一方、製造業、卸・小売業、一般サービス業では「悪化」超となった。特に卸・小売業は前年同月からの変化は▲54.5と「悪化」超が最も大きく、水準の「赤字」超と合わせ厳しい状況がうかがえる。

【資金繰りの状況についての判断】



- ・ 4月～6月期の全産業合計の資金繰り水準の判断指数は、0.0 となった。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「余裕」超となる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業で「苦しい」超となっている。特に卸・小売業は▲54.5 とマイナス幅が大きい。
- ・ 4月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲4.7 と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、建設業、事業サービス業で「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業では「悪化」超となった。

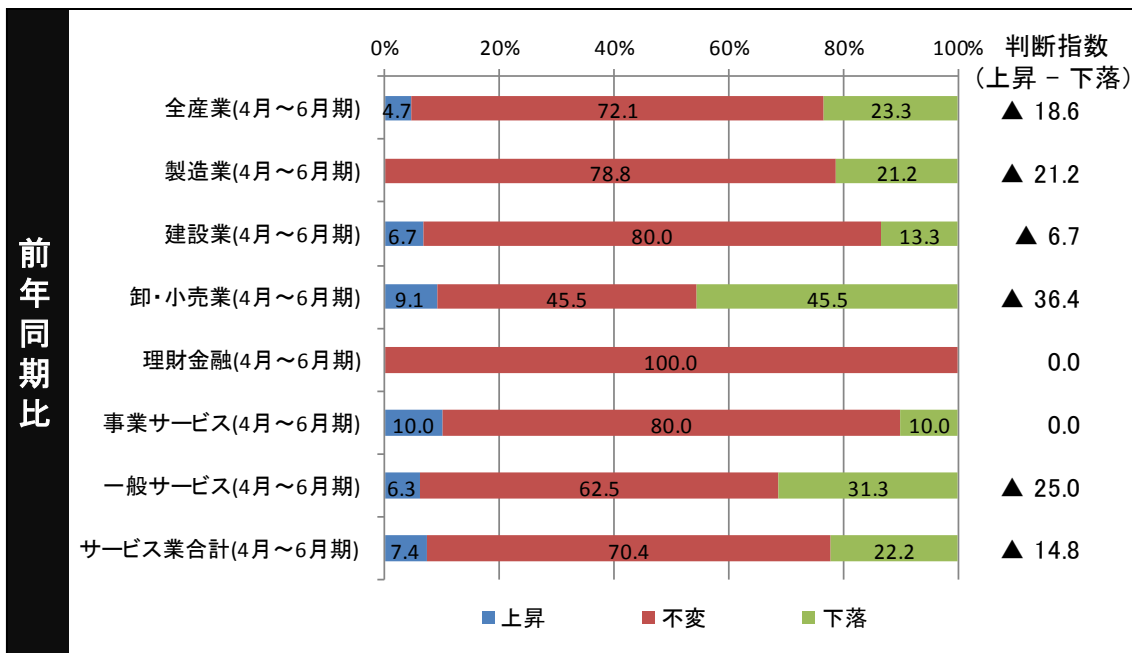
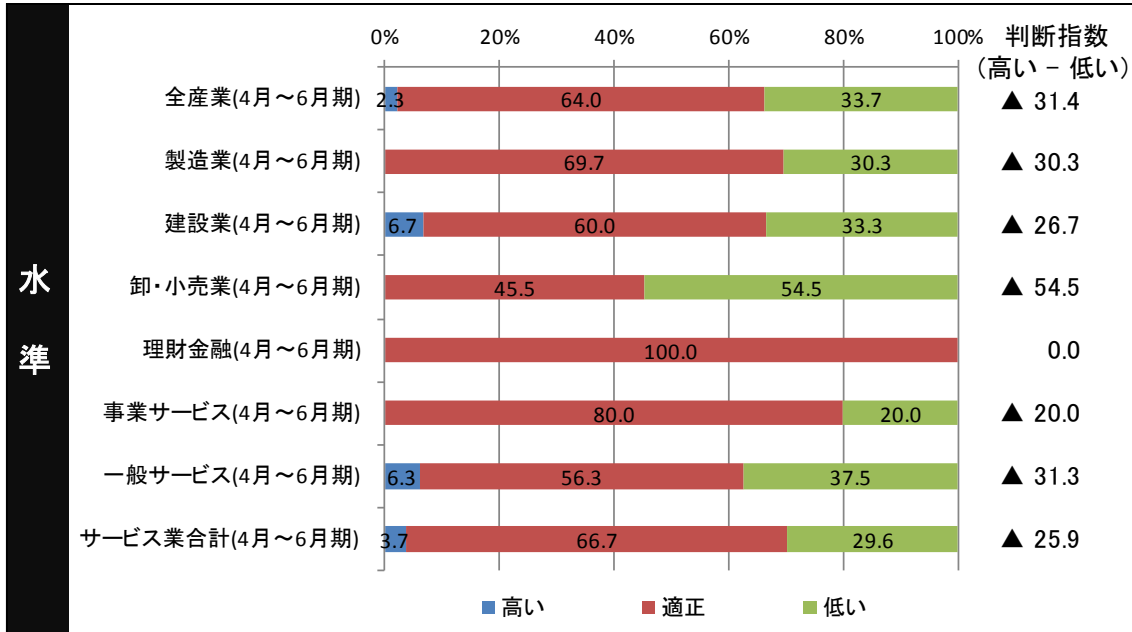
【仕入れ価格の状況についての判断】



・4月～6月期の全産業合計の仕入れ価格水準の判断指数は▲8.2と「高い」超となった。業種別に見ると、建設業、卸・小売業での「高い」の回答割合が大きい。その他の業種については7割超が「適正」水準であると回答している。

・4月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲3.5と「上昇」超。業種別に見ると、製造業のみ「下落」超となる一方、建設業、卸・小売業では「上昇」超となった。

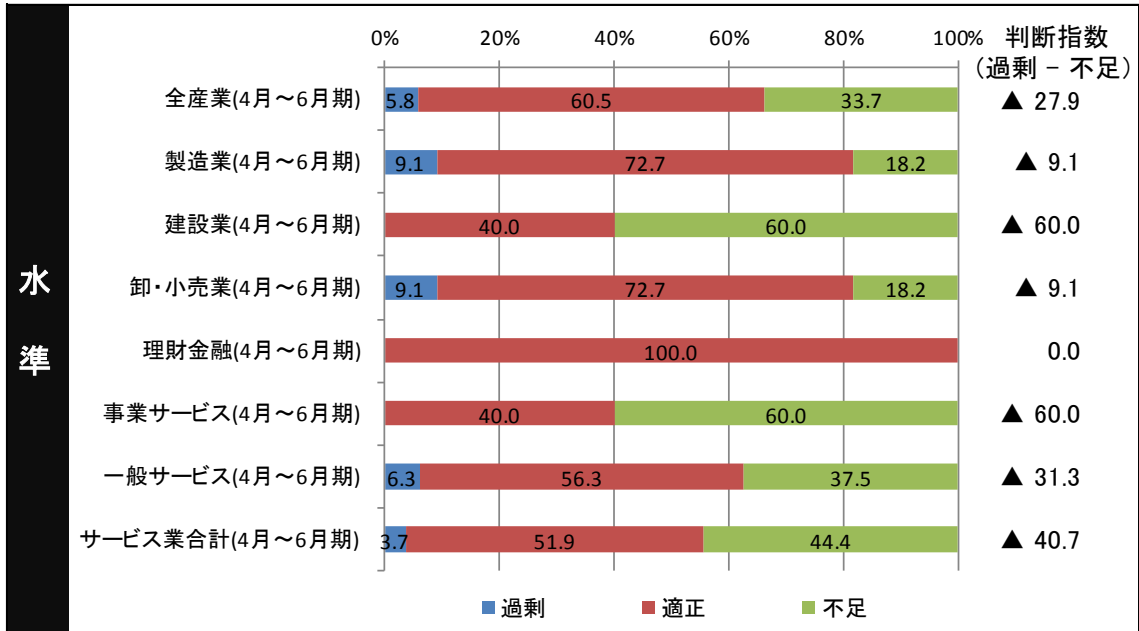
【受注(客)単価の状況についての判断】



・4月～6月期の全産業合計の受注(客)単価水準の判断指数は▲31.4と「低い」超となった。「高い」の回答割合は非常に少なく、業種別に見ると、理財金融を除く全業種で大きく「低い」超となった。

・4月～6月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲18.6と「下落」超。業種別に見ると、理財金融、事業サービスを除く全業種で「下落」超となっており、受注(客)単価は昨年からの下落によって低い水準となっていることがうかがえる。

【従業員の状況についての判断】



・4月～6月期の従業員過不足水準の判断指数は▲27.9と「不足」超となった。業種別に見ると、理財金融を除くすべての業種で「不足」超となっている。建設業、事業サービスでは「不足」の回答割合が6割と特に大きい。

【設備投資】

期間中の設備投資については、38.4%が「実施した」と回答。業種別の実施割合を見ると、最も高かったのは製造業で57.6%の事業所が設備投資を実施している。

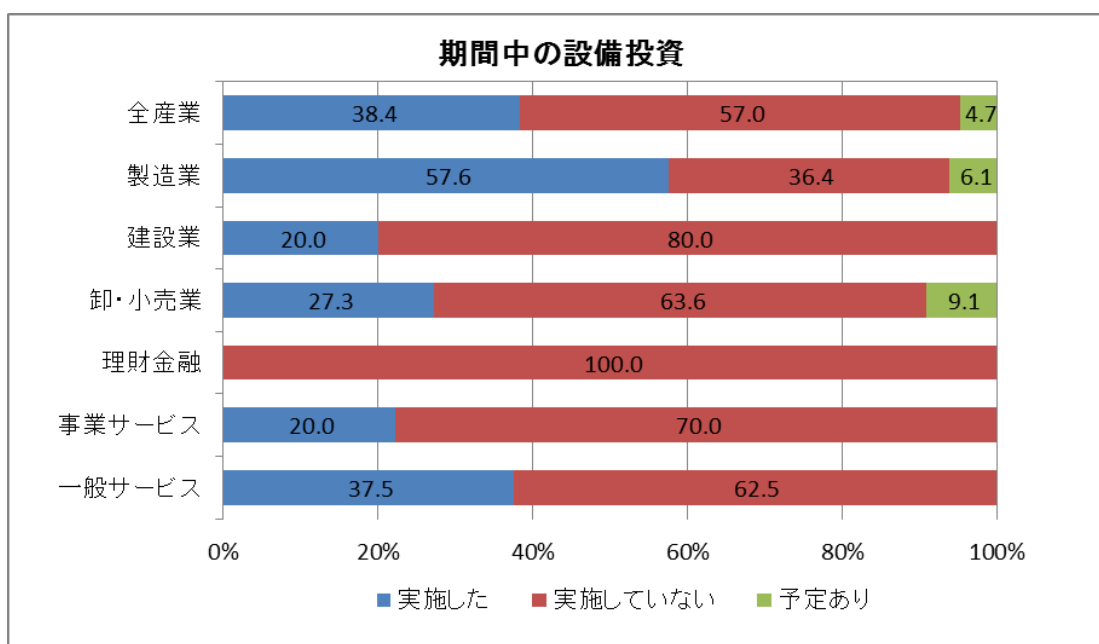
設備投資の目的としては「補修・更新」が18件で最も多く、次いで「生産能力拡大・売上増」(13件)となった。

問2-①期間中に設備投資は実施しましたか。

期間中の設備投資	件数
実施した	33
実施していない	49
予定あり	4
未回答	1
計	87

4月～6月期の間中の設備投資の実施(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	期間中の設備投資			
		合計	実施した	実施していない	予定あり
業種	全産業	86 100.0	33 38.4	49 57.0	4 4.7
	製造業	33 100.0	19 57.6	12 36.4	2 6.1
	建設業	15 100.0	3 20.0	12 80.0	-
	卸・小売業	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1
	理財金融	1 100.0	-	1 100.0	-
	事業サービス	10 100.0	2 20.0	7 70.0	1 10.0
	一般サービス	16 100.0	6 37.5	10 62.5	-



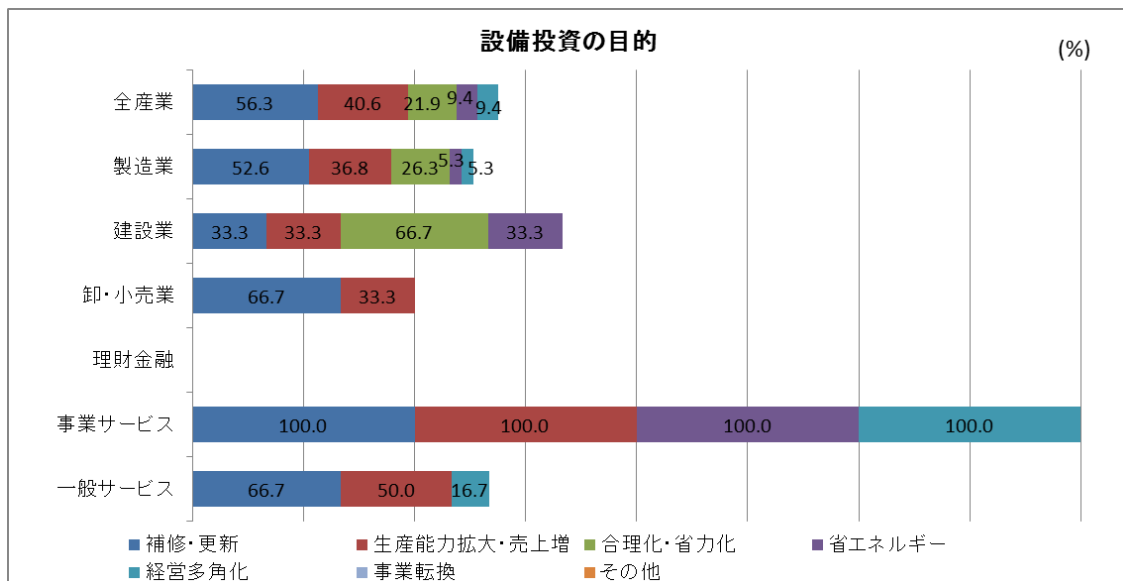
問2-②. 設備投資の目的

(複数回答)

設備投資の目的	件数
補修・更新	18
生産能力拡大・売上増	13
合理化・省力化	7
省エネルギー	3
経営多角化	3
事業転換	0
その他	0
未回答	1

設備投資の目的(業種別)

上段:件数 下段:%		設備投資の目的							
		合計	補修・更新	生産能力拡大・売上増	合理化・省力化	省エネルギー	経営多角化	事業転換	その他
業種	全産業	32 100.0	18 56.3	13 40.6	7 21.9	3 9.4	3 9.4	-	-
	製造業	19 100.0	10 52.6	7 36.8	5 26.3	1 5.3	1 5.3	-	-
	建設業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	卸・小売業	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-
	理財金融	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-
	一般サービス	6 100.0	4 66.7	3 50.0	-	-	1 16.7	-	-



【マイナンバーへの対応】

マイナンバーへの対応については、全体のおよそ半数が「完了している」と回答。対応完了、対応中の割合が多く占める中、卸・小売業では未着手、何をすべきかわからないという回答が半数弱を占めている。未着手の理由としては、「必要となるまでに対応する」「社内規定の整備の遅れ」が挙げられていた。

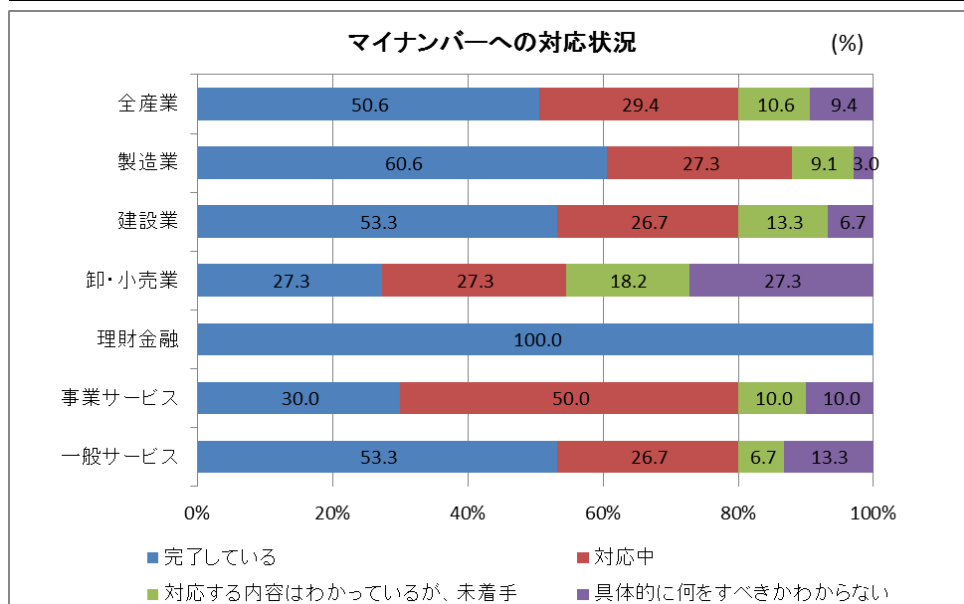
また対応に要した費用は「かからなかった」が 47.3%、「20 万円未満」が 32.4%となった。

問3-①マイナンバーへの対応状況

マイナンバーへの対応状況	件数
完了している	43
対応中	25
対応する内容はわかっているが、未着手	9
具体的に何をすべきかわからない	8
未回答	2
計	87

雇用予定(業種別)

上段:件数 下段:%		問3-①マイナンバーへの対応状況				
		合計	完了している	対応中	対応する内容はわかっているが、未着手	具体的に何をすべきかわからない
業種	全産業	85 100.0	43 50.6	25 29.4	9 10.6	8 9.4
	製造業	33 100.0	20 60.6	9 27.3	3 9.1	1 3.0
	建設業	15 100.0	8 53.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7
	卸・小売業	11 100.0	3 27.3	3 27.3	2 18.2	3 27.3
	理財金融	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	事業サービス	10 100.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0
	一般サービス	15 100.0	8 53.3	4 26.7	1 6.7	2 13.3

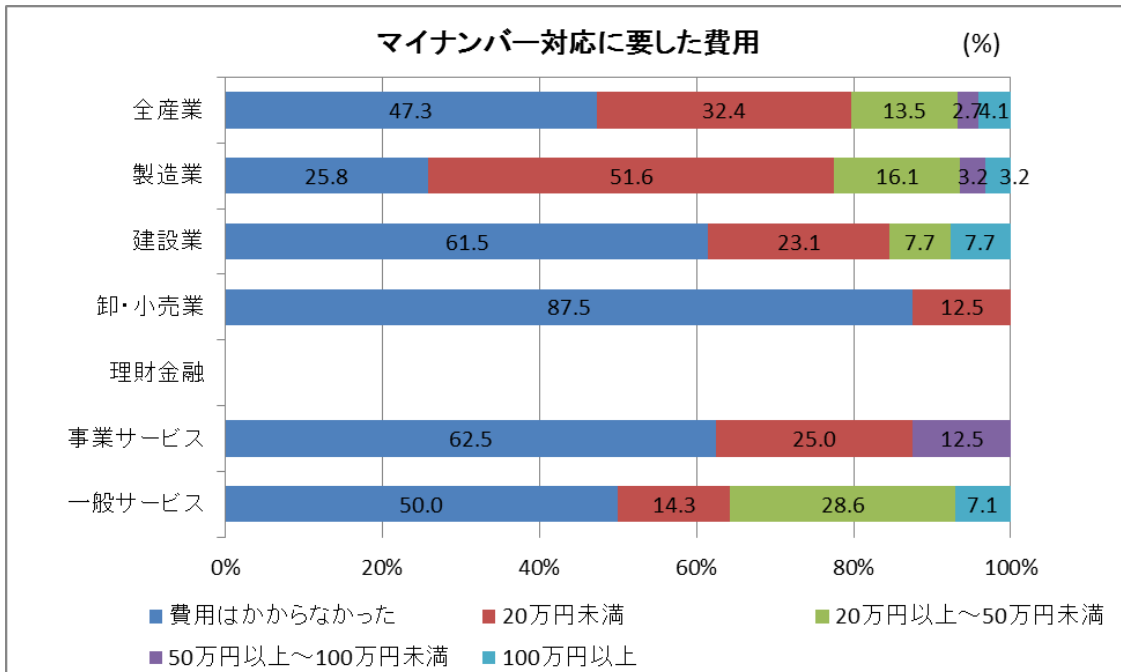


問3-②マイナンバー対応に要した費用

マイナンバー対応に要した費用	件数
費用はかからなかった	35
20万円未満	24
20万円以上～50万円未満	10
50万円以上～100万円未満	2
100万円以上	3
未回答	13
計	87

(業種別)

上段:件数 下段:%		問3-②マイナンバーへの対応に要した費用					
		合計	費用はかからなかった	20万円未満	20万円以上～50万円未満	50万円以上～100万円未満	100万円以上
業種	全産業	74 100.0	35 47.3	24 32.4	10 13.5	2 2.7	3 4.1
	製造業	31 100.0	8 25.8	16 51.6	5 16.1	1 3.2	1 3.2
	建設業	13 100.0	8 61.5	3 23.1	1 7.7	-	1 7.7
	卸・小売業	8 100.0	7 87.5	1 12.5	-	-	-
	理財金融	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	8 100.0	5 62.5	2 25.0	-	1 12.5	-
	一般サービス	14 100.0	7 50.0	2 14.3	4 28.6	-	1 7.1



【新たな取り組み】

新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み についての「予定がある」の回答が 27 件 (32.9%)、「興味がある」の回答が 23 件(28.0%)となった。特に製造業では、半数が「予定がある」と回答している。

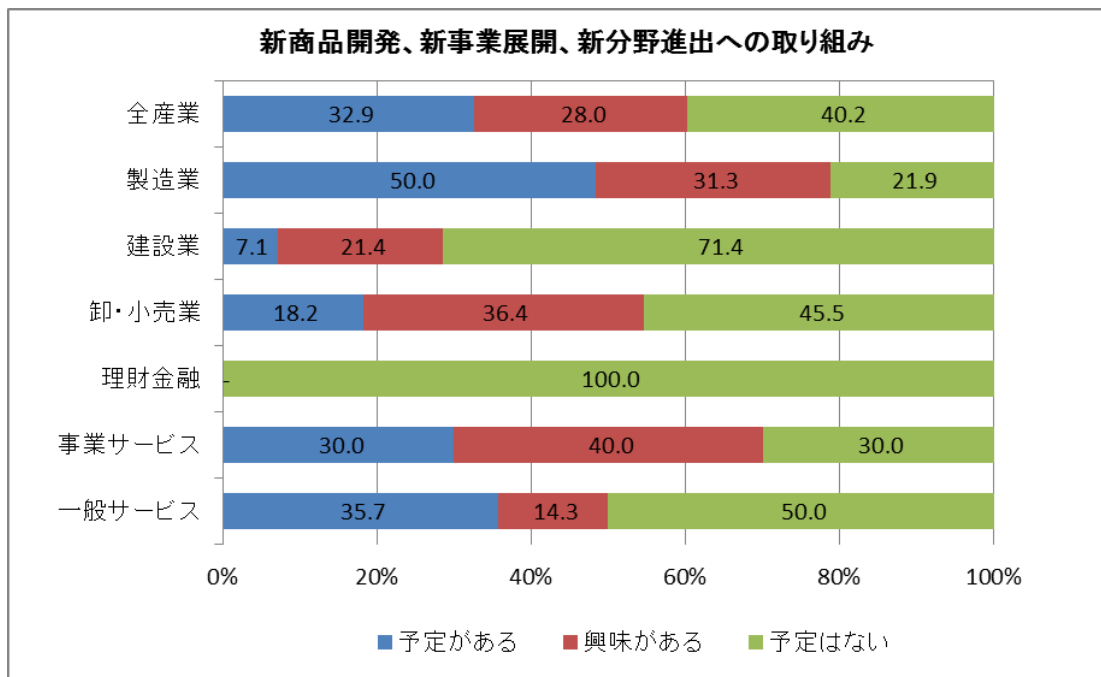
予定内容は、「新商品開発」が 16 件、興味内容は「新事業展開」が 16 件と最も多かった。

問4-①. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み (複数回答)

新たな土地組み	件数
予定がある	27
興味がある	23
予定はない	33
未回答	5
回答者計	87

新たな取り組み(業種別)

上段:件数 下段:%		新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み			
		合計	予定がある	興味がある	予定はない
業種	全産業	82 100.0	27 32.9	23 28.0	33 40.2
	製造業	32 100.0	16 50.0	10 31.3	7 21.9
	建設業	14 100.0	1 7.1	3 21.4	10 71.4
	卸・小売業	11 100.0	2 18.2	4 36.4	5 45.5
	理財金融	1 100.0	-	-	1 100.0
	事業サービス	10 100.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0
	一般サービス	14 100.0	5 35.7	2 14.3	7 50.0



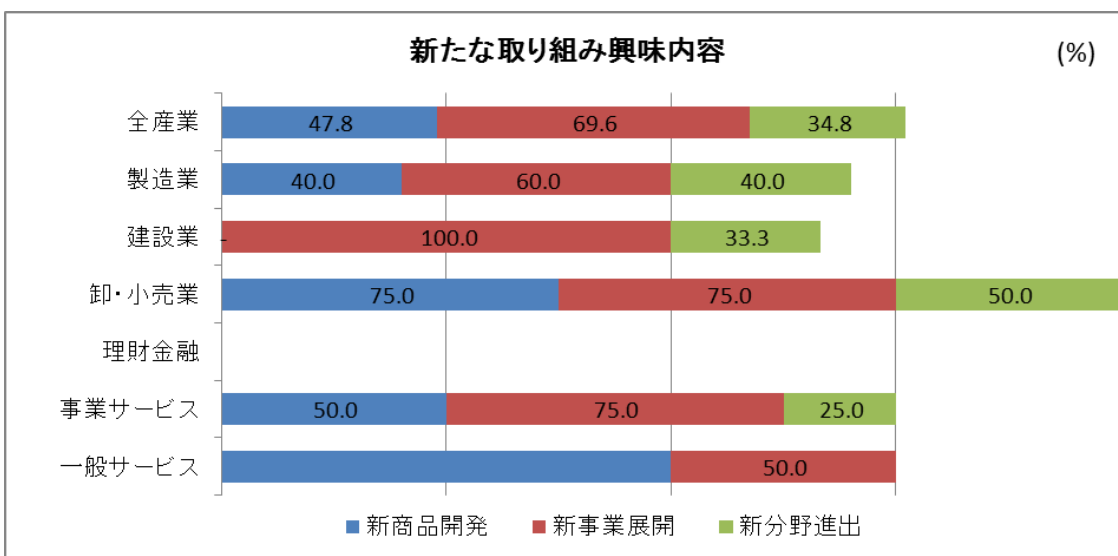
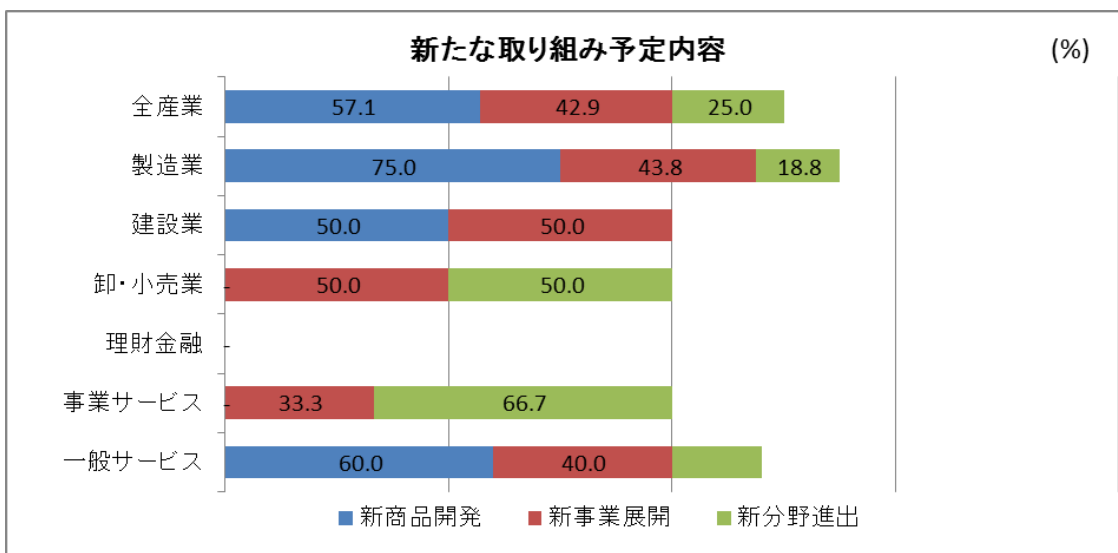
問4-②. 予定・興味の内容

(複数回答)

内容	予定あり件数	興味あり件数
新商品開発	16	11
新事業展開	12	16
新分野進出	7	8

予定・興味の内容(業種別)

上段:件数 下段:%	問4-1. 予定内容				興味内容			
	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出
全体	28 100.0	16 57.1	12 42.9	7 25.0	23 100.0	11 47.8	16 69.6	8 34.8
製造業	16 100.0	12 75.0	7 43.8	3 18.8	10 100.0	4 40.0	6 60.0	4 40.0
建設業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	3 100.0	-	3 100.0	1 33.3
卸・小売業	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0
理財金融	-	-	-	-	-	-	-	-
事業サービス	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	4 100.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0
一般サービス	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-



【経営課題】

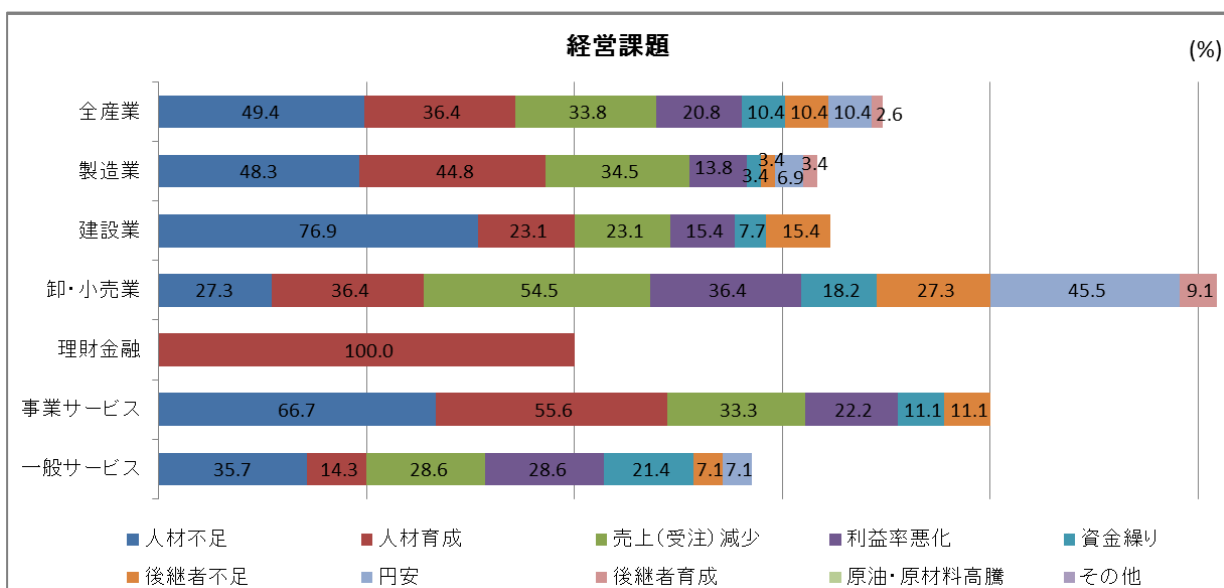
「人材不足」が49.4%と最も高く、「人材育成」(36.4%)、「売上(受注)減少」(33.8)と続いている。建設業では76.9%が「人材不足」を課題としており、事業に与える影響が懸念される

問5. 現在お悩みの経営課題について (複数回答)

経営課題	件数
人材不足	38
人材育成	28
売上(受注)減少	26
利益率悪化	16
資金繰り	8
後継者不足	8
後継者育成	8
原油・原材料高騰	2
無回答	10

経営課題 (業種別)

業種	上段:件数 下段:%	経営課題										
		合計	人材不足	人材育成	売上(受注)減少	利益率悪化	資金繰り	後継者不足	円安	後継者育成	原油・原材料高騰	その他
業種	全産業	77 100.0	38 49.4	28 36.4	26 33.8	16 20.8	8 10.4	8 10.4	8 10.4	2 2.6	-	-
	製造業	29 100.0	14 48.3	13 44.8	10 34.5	4 13.8	1 3.4	1 3.4	2 6.9	1 3.4	-	-
	建設業	13 100.0	10 76.9	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	-	-	-	-
	卸・小売業	11 100.0	3 27.3	4 36.4	6 54.5	4 36.4	2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1	-	-
	理財金融	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	9 100.0	6 66.7	5 55.6	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	-	-	-
	一般サービス	14 100.0	5 35.7	2 14.3	4 28.6	4 28.6	3 21.4	1 7.1	1 7.1	-	-	-



景況調査データ表

単位:件

		4月～6月期水準						4月～6月期前年同月比						
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	5	10	39	15	6	2	29	13	16	17	7	9	4
	やや良い	12												
	普通・不変	36	44	38	55	66	55	52	45	38	44	68	64	62
	やや悪い	25												
	悪い・悪化	8	32	9	15	13	29	5	26	31	24	11	12	20
	合計	86	86	86	85	85	86	86	84	85	85	86	85	86
製造業	良い・好転	2	5	20	10	3	0	6	4	6	9	3	7	0
	やや良い	5												
	普通・不変	13	14	11	22	28	23	24	17	12	13	28	23	26
	やや悪い	10												
	悪い・悪化	3	14	2	1	2	10	3	11	15	11	2	3	7
	合計	33	33	33	33	33	33	33	32	33	33	33	33	33
建設業	良い・好転	1	1	7	1	0	1	9	3	4	5	1	1	1
	やや良い	1												
	普通・不変	9	12	7	12	8	9	6	9	9	7	14	9	12
	やや悪い	3												
	悪い・悪化	1	2	1	2	7	5	0	2	1	2	0	5	2
	合計	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	15	15	15
卸・小売業	良い・好転	0	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1
	やや良い	1												
	普通・不変	2	4	6	5	8	5	8	4	4	5	6	8	5
	やや悪い	4												
	悪い・悪化	4	7	3	6	3	6	1	6	6	6	5	3	5
	合計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
理財金融	良い・好転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やや良い	0												
	普通・不変	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	やや悪い	0												
	悪い・悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事業サービス	良い・好転	1	3	5	3	1	0	6	2	2	1	2	0	1
	やや良い	3												
	普通・不変	5	6	5	6	7	8	4	7	7	9	8	9	8
	やや悪い	1												
	悪い・悪化	0	1	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	1
	合計	10	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10	9	10
一般サービス	良い・好転	1	1	5	1	2	1	6	3	3	2	1	1	1
	やや良い	2												
	普通・不変	6	7	8	9	14	9	9	7	5	9	11	14	10
	やや悪い	7												
	悪い・悪化	0	8	3	5	0	6	1	6	8	5	4	1	5
	合計	16	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16
サービス業合計	良い・好転	2	4	10	4	3	1	12	5	5	3	3	1	2
	やや良い	5												
	普通・不変	12	14	14	16	22	18	14	15	13	19	20	24	19
	やや悪い	8												
	悪い・悪化	0	9	3	6	1	8	1	7	9	5	4	1	6
	合計	27	27	27	26	26	27	27	27	27	27	27	26	27

単位：％、判断指数はポイント

		4月～6月期水準							4月～6月期前年同月比						
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	
全産業	良い・好転	5.8	11.6	45.3	17.6	7.1	2.3	33.7	15.5	18.8	20.0	8.1	10.6	4.7	
	やや良い	14.0													
	普通・不変	41.9	51.2	44.2	64.7	77.6	64.0	60.5	53.6	44.7	51.8	79.1	75.3	72.1	
	やや悪い	29.1													
	悪い・悪化	9.3	37.2	10.5	17.6	15.3	33.7	5.8	31.0	36.5	28.2	12.8	14.1	23.3	
	判断指数	▲11.0	▲25.6	34.9	0.0	▲8.2	▲31.4	27.9	▲15.5	▲17.6	▲8.2	▲4.7	▲3.5	▲18.6	
製造業	良い・好転	6.1	15.2	60.6	30.3	9.1	0.0	18.2	12.5	18.2	27.3	9.1	21.2	0.0	
	やや良い	15.2													
	普通・不変	39.4	42.4	33.3	66.7	84.8	69.7	72.7	53.1	36.4	39.4	84.8	69.7	78.8	
	やや悪い	30.3													
	悪い・悪化	9.1	42.4	6.1	3.0	6.1	30.3	9.1	34.4	45.5	33.3	6.1	9.1	21.2	
	判断指数	▲10.6	▲27.3	54.5	27.3	3.0	▲30.3	9.1	▲21.9	▲27.3	▲6.1	3.0	12.1	▲21.2	
建設業	良い・好転	6.7	6.7	46.7	6.7	0.0	6.7	60.0	21.4	28.6	35.7	6.7	6.7	6.7	
	やや良い	6.7													
	普通・不変	60.0	80.0	46.7	80.0	53.3	60.0	40.0	64.3	64.3	50.0	93.3	60.0	80.0	
	やや悪い	20.0													
	悪い・悪化	6.7	13.3	6.7	13.3	46.7	33.3	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	33.3	13.3	
	判断指数	▲6.7	▲6.7	40.0	▲6.7	▲46.7	▲26.7	60.0	7.1	21.4	21.4	6.7	▲26.7	▲6.7	
卸・小売業	良い・好転	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	
	やや良い	9.1													
	普通・不変	18.2	36.4	54.5	45.5	72.7	45.5	72.7	36.4	36.4	45.5	54.5	72.7	45.5	
	やや悪い	36.4													
	悪い・悪化	36.4	63.6	27.3	54.5	27.3	54.5	9.1	54.5	54.5	54.5	45.5	27.3	45.5	
	判断指数	▲50.0	▲63.6	▲9.1	▲54.5	▲27.3	▲54.5	9.1	▲45.5	▲45.5	▲54.5	▲45.5	▲27.3	▲36.4	
理財金融	良い・好転	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	やや良い	0.0													
	普通・不変	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	やや悪い	0.0													
	悪い・悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	判断指数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業サービス	良い・好転	10.0	30.0	50.0	30.0	11.1	0.0	60.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	
	やや良い	30.0													
	普通・不変	50.0	60.0	50.0	60.0	77.8	80.0	40.0	70.0	70.0	90.0	80.0	100.0	80.0	
	やや悪い	10.0													
	悪い・悪化	0.0	10.0	0.0	10.0	11.1	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	
	判断指数	20.0	20.0	50.0	20.0	0.0	▲20.0	60.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	
一般サービス	良い・好転	6.3	6.3	31.3	6.7	12.5	6.3	37.5	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	
	やや良い	12.5													
	普通・不変	37.5	43.8	50.0	60.0	87.5	56.3	56.3	43.8	31.3	56.3	68.8	87.5	62.5	
	やや悪い	43.8													
	悪い・悪化	0.0	50.0	18.8	33.3	0.0	37.5	6.3	37.5	50.0	31.3	25.0	6.3	31.3	
	判断指数	▲9.4	▲43.8	12.5	▲26.7	12.5	▲31.3	31.3	▲18.8	▲31.3	▲18.8	▲18.8	0.0	▲25.0	
サービス業合計	良い・好転	7.4	14.8	37.0	15.4	11.5	3.7	44.4	18.5	18.5	11.1	11.1	3.8	7.4	
	やや良い	18.5													
	普通・不変	44.4	51.9	51.9	61.5	84.6	66.7	51.9	55.6	48.1	70.4	74.1	92.3	70.4	
	やや悪い	29.6													
	悪い・悪化	0.0	33.3	11.1	23.1	3.8	29.6	3.7	25.9	33.3	18.5	14.8	3.8	22.2	
	判断指数	1.9	▲18.5	25.9	▲7.7	7.7	▲25.9	40.7	▲7.4	▲14.8	▲7.4	▲3.7	0.0	▲14.8	

